



IMS Health & Quintiles are now



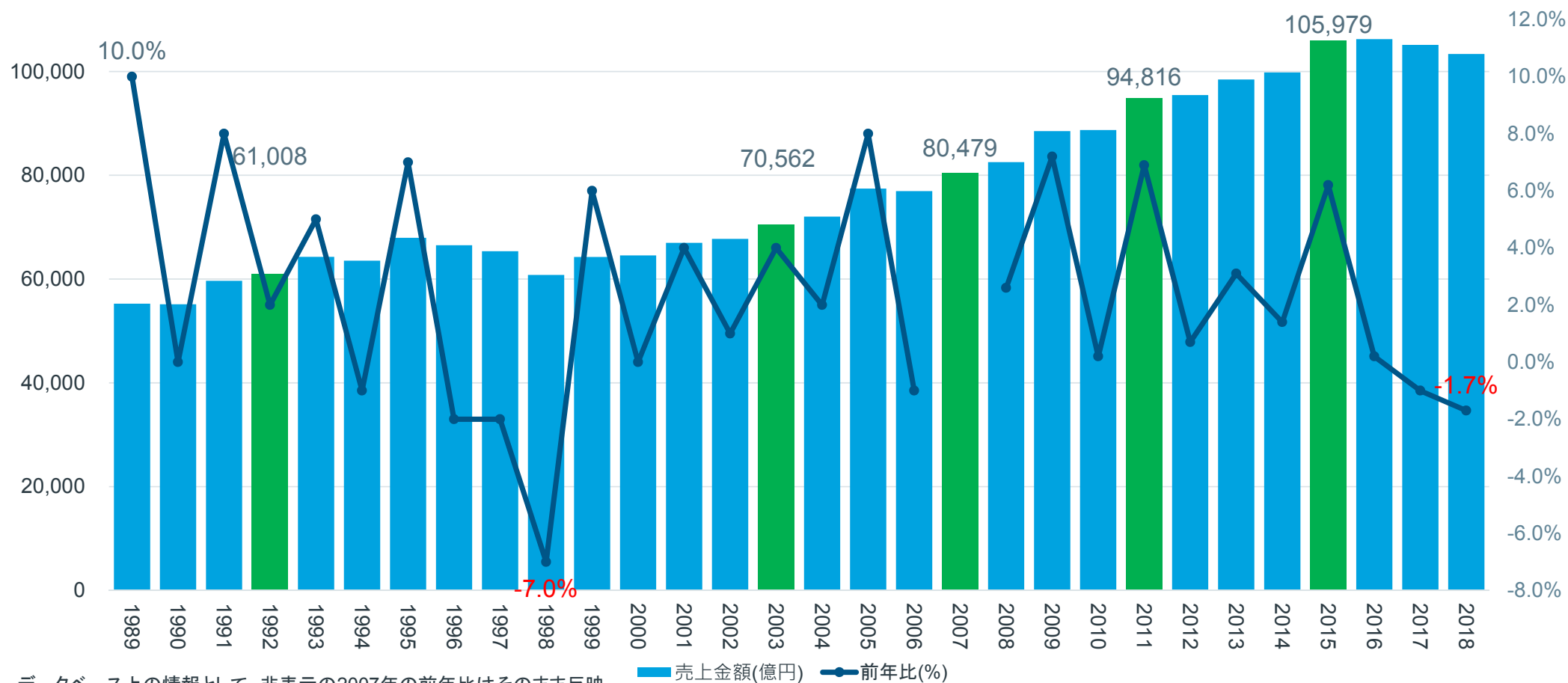
# 平成年間の 日本医療用医薬品市場

トップライン市場データ (1989年-2018年)  
ダイジェスト

IQVIAジャパン グループ 広報マーケティング

- + 平成年間-日本医療用医薬品市場の推移
- + 平成年間-日本医療用医薬品市場における主要16薬効シェアの推移
- + 平成年間-主要16薬効別シェアの推移
- + 平成年間-前・中・後期の主要16薬効ランキング 薬効別売上額
- + 平成年間-前・中・後期の主要16薬効ランキング 薬効別成長額

# 図表1：平成年間-日本医療用医薬品市場の推移



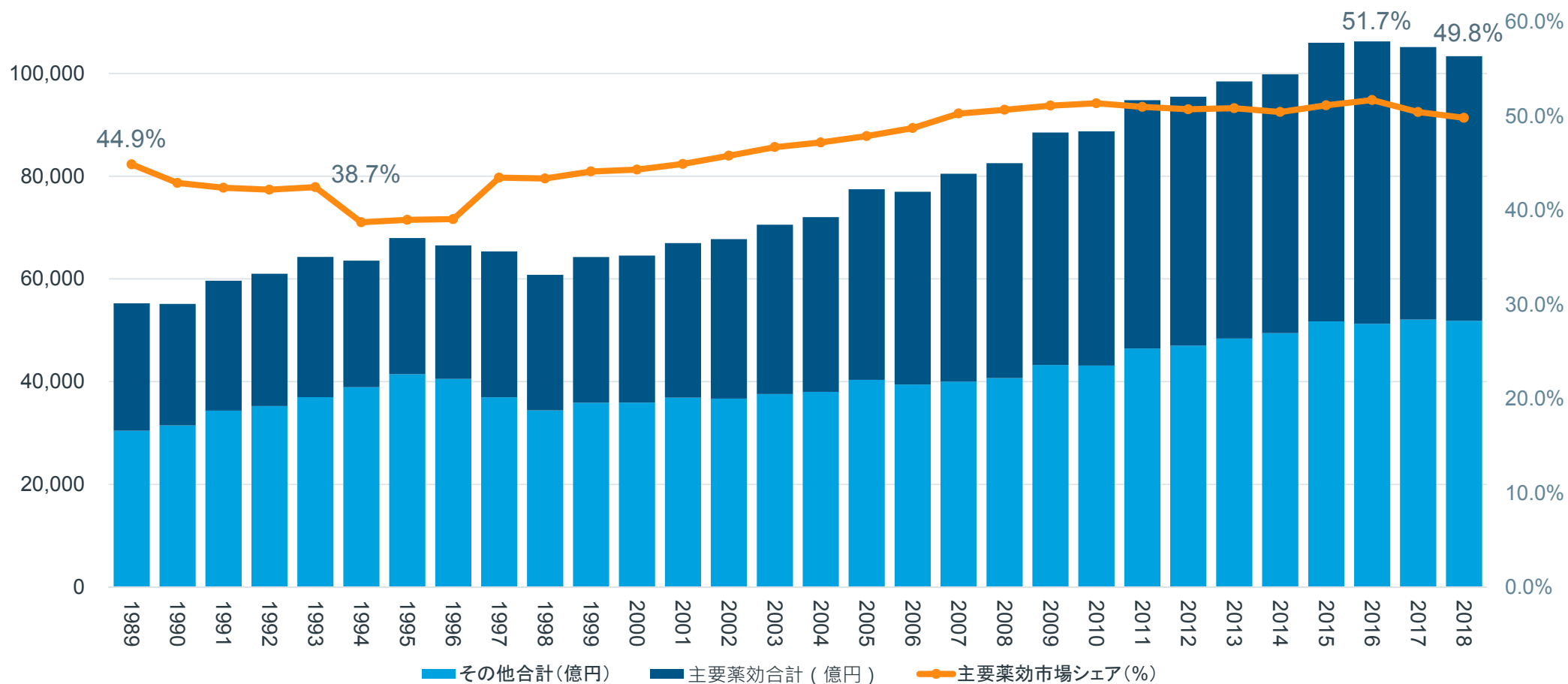
データベース上の情報として、非表示の2007年の前年比はそのまま反映

■ 売上金額(億円)    ● 前年比(%)

Copyright © IQVIA All right reserved. 2019 Feb 日本医薬品市場統計（統計書 / 1989年-2006年, IMSBase / 2007年-2018年）

All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.

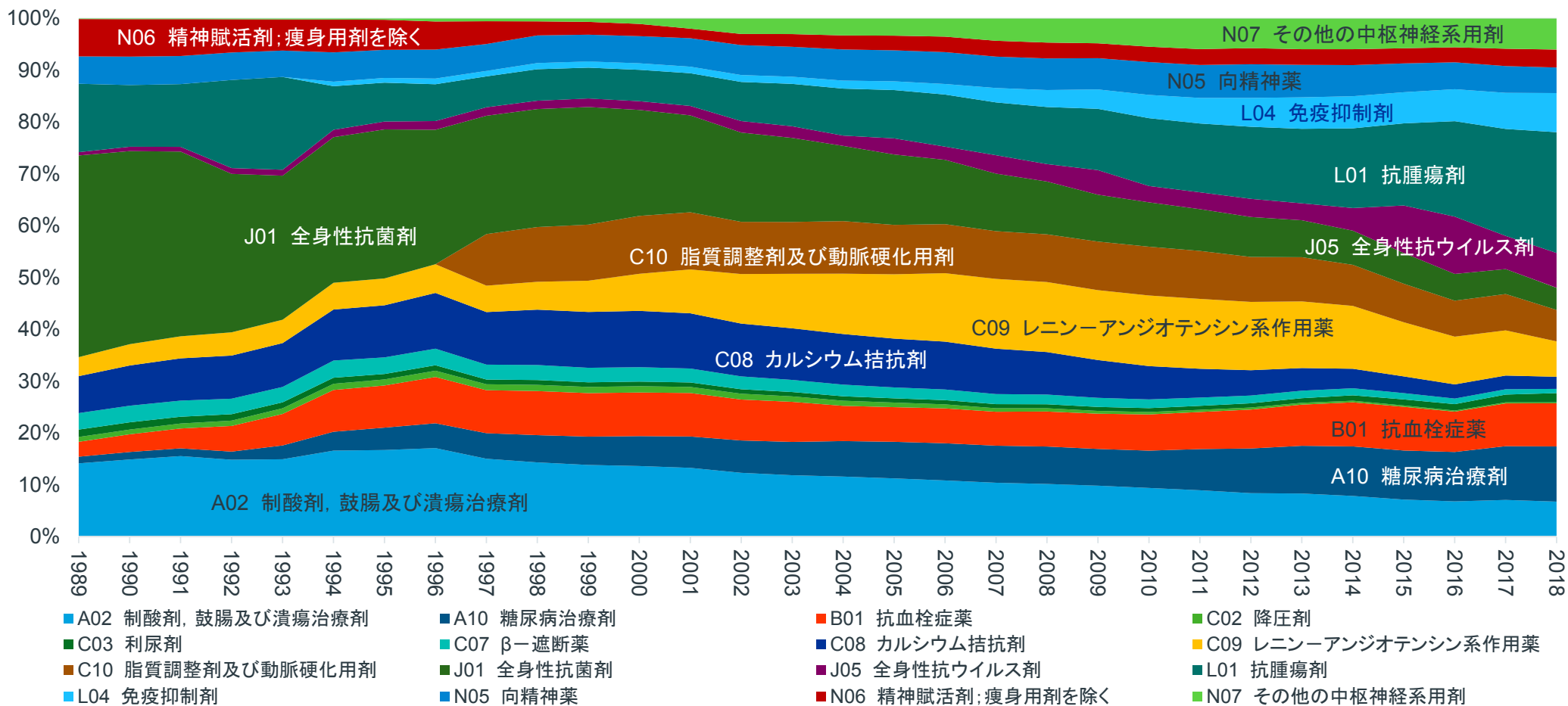
## 図表2: 平成年間-日本医療用医薬品市場における主要16薬効シェアの推移



Copyright © IQVIA All right reserved. 2019 Feb 日本医薬品市場統計 (統計書 / 1989年-2006年, IMSBase / 2007年-2018年)

All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.

### 図表3: 平成年間-主要16薬効別シェアの推移



Copyright © IQVIA All right reserved. 2019 Feb 日本医薬品市場統計 (統計書 / 1989年-2006年, IMSBase / 2007年-2018年)

All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.

## 図表4: 平成年間-前・中・後期の主要16薬効ランキング 薬効別売上額

前期(1989-1998年)			中期(1999年-2008年)			後期(2009年-2018年)		
1	J01 全身性抗菌剤		1	J01 全身性抗菌剤		1	L01 抗腫瘍剤	▲
2	A02 制酸剤, 鼓腸及び潰瘍治療剤		2	A02 制酸剤, 鼓腸及び潰瘍治療剤		2	C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬	▲
3	L01 抗腫瘍剤		3	C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬	▲	3	A10 糖尿病治療剤	▲
4	C08 カルシウム拮抗剤		4	C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤	▲	4	A02 制酸剤, 鼓腸及び潰瘍治療剤	▼
5	B01 抗血栓症薬		5	C08 カルシウム拮抗剤	▼	5	C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤	▼
6	N06 精神賦活剤; 瘦身用剤を除く		6	L01 抗腫瘍剤	▼	6	B01 抗血栓症薬	▲
7	N05 向精神薬		7	B01 抗血栓症薬	▼	7	J01 全身性抗菌剤	▼
8	C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬		8	A10 糖尿病治療剤	▲	8	L04 免疫抑制剤	▲
9	A10 糖尿病治療剤		9	N05 向精神薬	▼	9	N05 向精神薬	
10	C07 β-遮断薬		10	N07 その他の中枢神経系用剤	▲	10	J05 全身性抗ウイルス剤	▲
11	C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤		11	N06 精神賦活剤; 瘦身用剤を除く	▼	11	N07 その他の中枢神経系用剤	▼
12	J05 全身性抗ウイルス剤		12	J05 全身性抗ウイルス剤		12	C08 カルシウム拮抗剤	▼
13	C03 利尿剤		13	C07 β-遮断薬	▼	13	N06 精神賦活剤; 瘦身用剤を除く	▼
14	C02 降圧剤		14	L04 免疫抑制剤	▲	14	C07 β-遮断薬	▼
15	L04 免疫抑制剤		15	C02 降圧剤	▼	15	C03 利尿剤	▲
16	N07 その他の中枢神経系用剤		16	C03 利尿剤	▼	16	C02 降圧剤	▼

薬効別売上額の各期間合計

「C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤」は97年、「L04 免疫抑制剤」は94年からATC分類を新設

Copyright © IQVIA All right reserved. 2019 Feb 日本医薬品市場統計 (統計書 / 1989年-2006年, IMSBase / 2007年-2018年)

All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.

## 図表5: 平成年間-前・中・後期の主要16薬効ランキング 薬効別成長額

前期(1989-1998年)		中期(1999年-2008年)		後期(2009年-2018年)	
1	B01 抗血栓症薬	1	C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬 ▲	1	L01 抗腫瘍剤 ▲
2	C08 カルシウム拮抗剤	2	L01 抗腫瘍剤 ▲	2	L04 免疫抑制剤 ▲
3	L01 抗腫瘍剤	3	A10 糖尿病治療剤 ▲	3	A10 糖尿病治療剤
4	A10 糖尿病治療剤	4	N07 その他の中枢神経系用剤 ▲	4	J05 全身性抗ウイルス剤 ▲
5	C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬	5	N05 向精神薬 ▲	5	B01 抗血栓症薬 ▲
6	A02 制酸剤, 鼓腸及び潰瘍治療剤	6	B01 抗血栓症薬 ▼	6	N07 その他の中枢神経系用剤 ▼
7	J05 全身性抗ウイルス剤	7	L04 免疫抑制剤 ▲	7	C03 利尿剤 ▲
8	N05 向精神薬	8	C08 カルシウム拮抗剤 ▼	8	N06 精神賦活剤; 瘦身用剤を除く ▲
9	L04 免疫抑制剤	9	C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤 ▲	9	N05 向精神薬 ▼
10	C02 降圧剤	10	A02 制酸剤, 鼓腸及び潰瘍治療剤 ▼	10	C02 降圧剤 ▲
11	C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤	11	J05 全身性抗ウイルス剤 ▼	11	C07 β-遮断薬 ▲
12	N07 その他の中枢神経系用剤	12	N06 精神賦活剤; 瘦身用剤を除く ▲	12	C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤 ▼
13	C07 β-遮断薬	13	C03 利尿剤 ▲	13	A02 制酸剤, 鼓腸及び潰瘍治療剤 ▼
14	C03 利尿剤	14	C07 β-遮断薬 ▼	14	J01 全身性抗菌剤 ▲
15	N06 精神賦活剤; 瘦身用剤を除く	15	C02 降圧剤 ▼	15	C09 レニン-アンジオテンシン系作用薬 ▼
16	J01 全身性抗菌剤	16	J01 全身性抗菌剤	16	C08 カルシウム拮抗剤 ▼

薬効別対前年成長額の各期間合計

「C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤」は97年、「L04 免疫抑制剤」は94年からATC分類を新設

Copyright © IQVIA All right reserved. 2019 Feb 日本医薬品市場統計 (統計書 / 1989年-2006年, IMSBase / 2007年-2018年)

All Rights Reserved. Confidential and Proprietary.